



いわきの子

〈学校教育目標〉「ふるさとに誇りをもち たくましく生き抜く 子どもの育成」

岩城小学校
学校便り
第47号
R5.12.7
文責：佐藤

小中合同意見交換会 ～みんなで語ろう地域の未来～

11月30日（木）の午後、岩城小学校6年生、岩城中学校2年生、小中学校運営協議会委員・小中PTA役員の皆様が岩城中学校の体育館に集まり、小中合同意見交換会を行いました。

6年生は、前半は緊張していてグループ協議が始まってからも控えめな感じに見受けられましたが、事前に「岩城の魅力」「地域で楽しめること」「不便だと思うこと」を付箋に書いて用意していたので、中学生に続いて発表することができました。後半には、「不便をなくして、もっと楽しい地域にするために」個々の意見を付箋紙にまとめ、さらにグループ協議を行いました。



10グループに分かれていたので全てを把握することはできませんでしたが、「自然を活かしたイベントを行う」「イベントの規模を大きくする」「今あるもので、新たな魅力を融合させていく」「サイクリングロードを作る」「SNS等で地域を宣伝する」「TVで紹介し、ふるさと納税に参加する」等、様々な意見が書き出されていました。あるグループでは「世代を超えた交流を行うことで魅力や課題が見え魅力のアップにつながるの、そういう場をつくる」「地域に住む人が魅力を感じる地域にすると、他の地域から訪れた人もこの地域に魅力を感じてくれるのではないか」というような発言もあったと聞きました。

6年生は、この後総合で「未来の岩城とこれからの自分」について考えていくようです。今回先輩や地域の方々との意見交換をしたことが、地域社会に関心をもって主体的に関わっていかうしたり、今後の自分の生き方について考えを深めたりすることに役立てられるのではないかと感じました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



第2回保小連絡協議会

11月28日(火)に今年度2回目となる「保小連絡協議会」を開催し、道川保育園、亀田保育園の先生方がいらしてくださいました。1年生から6年生までの授業を参観していただき、その後情報交換を行いました。

園の先生方は、それぞれの学年の様子を見て「どの学年もみんなで協力して学習できている。」「落ち着きが増してきている。」と、子どもたちの成長を喜んでくださいました。特に、1年生については、「2週間前の『新入学児童体験入学』の時とはまた違って、座って学習している姿はとても成長していた。」「入学してうまくやっていけるかなと心配していたけれど、もうすっかり岩城小の子どもとして生活しているんだなあと感じた。」と安心してくださったようでした。

小学校と保育園の連携によって接続をなめらかなものにし、入学する子どもたちが安心して学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。



クラブ見学

12月1日(金)、3年生の子どもたちは4～6年生が活動しているクラブを見学して回りました。今年度は卓上ゲーム、パソコン、ビームライフルなど7つのクラブがありますが、「どんな活動をしているのかな?来年度自分はどんなクラブがよいか?」という視点で見学したと思います。

クラブは、興味をもっていることを異学年の友達といっしょに追求できる時間ですので、自分の世界をさらに広げることができますね。



パズル完成間近

長休みに「本借りて!」という声が聞こえてきました。クラス対抗パズルを早く完成したい子どもたちが図書館へ向かっていたのです。4年、6年生があと少しで完成です。

5年生の数がなかなか増えないので、がんばってほしいと思います。

